

# 秋のみなとフェスタ 2011 企画検討部会の運営

Management of the planning section of the event named "Minato Festa 2011 of Autumn"

松浦健治郎<sup>1)</sup>

Kenjiro Matsuura<sup>1)</sup>

## 1. はじめに

本稿は四日市港まち歩き実行委員会と三重大学都市計画研究室との共同研究である「秋のみなとフェスタ 2011 企画検討部会の運営」の成果を取りまとめたものである。これまで2年間の四日市港管理組合との共同研究では、2009年度に親しまれる四日市港づくりの100のアイデアを取りまとめ、2010年度に一部のアイデアを実践する社会実験としてのイベント「秋のみなとフェスタ 2010～四日市港再発見」を開催したわけだが、今年度はイベントの実施主体を構成員とする「秋のみなとフェスタ 2011」企画検討部会を組織し、昨年度のイベントの課題を踏まえて、イベント内容の再検討を行い、秋のみなとフェスタ 2011 を開催した。2010年度の反省を踏まえたイベント内容の変更点として、「港に近い稲葉翁記念公園をメイン会場にしたこと」、「音楽やアートをテーマにしたイベント内容の充実を図ったこと」、「近鉄や本町通り商店街などの他の主体との合同開催としたこと」、「四日市市内の幼稚園にキャンドルナイトの Copp のデコレーションを依頼するなど他の主体に協力を要請したこと」などが挙げられる。

イベント当日は天候に恵まれたことや近鉄ハイキングとの合同開催としたこともあって、昨

年の約2倍となる約2000名の来場者があった。秋のみなとフェスタの参加者アンケートをした結果、来場者の73%がイベント内容に満足したという結果だったことから、イベントは成功だったと言える。しかしながら、イベント時以外でも四日市港を訪れてもらうためには、駐車場などのアクセスの整備や散策路の充実整備などの課題が残されている。今後はイベントなどのソフトの充実と共に、魅力的なハードの整備を継続的に続けていくことが望まれるだろう。なお、本稿では紙面の都合上、報告書1)の一部を抜粋して紹介する。

## 2. 秋のみなとフェスタ 2011 開催のための企画検討部会

第1回企画検討部会では、昨年度の成果発表の後、みなとフェスタの企画を検討する上で参考となりそうな事例の紹介、イベントのアイデア出しを行った。第2回企画検討部会では、第1回で出されたイベントを3つのグループ(アート・子供・まち歩き)に分けて、各グループ毎にイベント内容の詳細を検討した。第3回企画検討部会では、第2回で検討できなかったイベントについて、2つのグループ(写真音楽・キャンドルナイト)に分かれて、イベント内容の検討を行った(写真1・図1)。

1) 三重大学大学院工学研究科建築学専攻 Department of Architecture, Faculty of Engineering, Mie University

なお、企画検討部会の参加者はイベントの運営に関わる各種組織を中心に構成され、その内訳は、本町商店街関係者2名、港地区地域振興会1名、近畿日本鉄道関係者1名、四日市商工会議所2名、FMよっかいち1名、市民活動組織1名（子育て広場・ドロップin）、四日市市役所2名、大学関係者10名（三重大学・四日市大学）、四日市港管理組合11名の合計31名である。



写真1：企画検討部会の風景写真

### 3. 秋のみなとフェスタ 2011 の開催

#### (1) 秋のみなとフェスタ 2011 の概要

四日市港まちあるき実行委員会主催で、10月23日（日）9:30～18:30に開催された。メイン会場は、稲葉翁記念公園・なやプラザ・千歳棧橋の3箇所である。来場者数は約2000名だった。

主なプログラムについては、稲葉翁記念公園会場では、東ソー音楽部「Zoom Up」などによる野外音楽イベント（写真2）、事前に募集した四日市港の魅力写真をプロムナード沿いに展示する四日市港の魅力写真コンテスト、水辺沿いの散策路に事前に幼稚園児に製作して頂いたキャンドルを灯すキャンドルナイト（写真3）、拠点会場に飲食ブースを設置したフードコート、四日市のゆるキャラ3体が会場内に現れる「ゆるキャラと遊ぼう」などである。なやプラザ会場では、語り部による散策ガイドツアー、散策コース内各所に設置した地域資源に関するクイズに答えると景品がもらえる「港巡りウォークラリー」、市立博物館協力による港の歴史展示、三重大生による卒業・修士設計の

**秋のみなとフェスタ 2011**  
 2011年 10/23日(日) 9:30～18:30  
 ～四日市旧港を味わう～  
 なやプラザ・稲葉翁記念公園周辺～千歳棧橋  
 ※会場の周辺図は裏面をご覧ください

<b>～みなとまちを味わう～</b> <b>港巡りウォークラリー</b> 9:30～16:00 散策マップを片手に港の名所を巡り、クイズに答えて景品をもらおう ●受付は稲葉翁記念公園でも可 <b>散策ガイドツアー</b> 10:00～、13:00～、14:30～ なやプラザ～本町通り～忠実橋～稲葉翁記念公園周辺 ガイドの案内で四日市旧港の「味」を心しを再発見しよう ●事前募集(裏面参照)当日参加も可	<b>～海・船を味わう～</b> <b>港で働く船の見学会</b> 9:30～16:00(受付は15:30) 普段はみるこことができない、四日市港で働く船に入ってみよう <b>巡視船「かもめ」体験クルーズ</b> 9:30～11:00～13:00～14:30～ 四日市港を海から見よう ●事前募集(裏面参照) ●所要時間30分 ●各回定員30名
<b>～海辺で食・アートを味わう～</b> <b>野外音楽イベント</b> 11:00～18:30 東ソー音楽部「Zoom Up」、三重大学「SUNNY ALL STARS」、「Silhouette」による生演奏を聴こう <b>四日市港の魅力写真コンテスト</b> 9:30～16:00 コンテストの作品を見て、四日市港の魅力を感じよう ●事前募集(裏面参照)	<b>フードコート</b> 11:00～16:00 地元グルメを堪能しよう <b>キャンドルナイト</b> 16:30～18:30 キャンドルのあたたかい光のなかを歩こう <b>ゆるキャラと遊ぼう</b> 9:30～16:00 地元のゆるキャラと遊ぼう

**同時開催**

<b>近鉄八幡シジ</b> ●受付:近鉄四日市駅南口9:00～10:30 ●コース:近鉄四日市駅～千歳地区～稲葉翁記念公園～なやプラザ～ゴール(解散)～近鉄四日市駅(約9km) ●大正100年祭 本町通り商店街 ●開催期間:10/23(日)～10/30(日)	<b>カッター体験</b> 四日市海洋少年団 ●四日市海洋少年団によるカッター体験(手漕ぎボート)ロープワーク教室 ●受付:稲葉翁記念公園 ●10:00、11:00、13:00 ●事前申し込み可(IP) ●各回定員6名	<b>レンタサイクル</b> 四日市市 ●受付:近鉄四日市駅・JR四日市駅 ●9:00～19:00 ●1日¥120～240(保証金¥2000) ●貸出先:近鉄四日市駅
--	--	--

主催:四日市港まちあるき実行委員会 当日連絡先:080-3759-7817  
<http://www.yokkaichi-port.or.jp/ypfesta/>

図1：企画検討部会の検討結果を踏まえた作成されたイベントチラシ



写真2：野外音楽イベント



写真3：キャンドルナイト

展示をした「港の展示会」などである。千歳棧橋会場では、タグボート「ちとせ丸」や海上保安庁消防船「しょうりゅう」などの「港で働く船の見学会」、港内巡視船かもめで四日市港を1周する巡視船「かもめ」体験クルーズである。その他に同時開催として、近鉄四日市からなやプラザまでをコースとした近鉄ハイキング、四日市海洋少年団によるカッター体験国の有形文化財である浜松茂で抹茶の有料サービスを実施するお茶会、四日市港に近接する本町通り商店街の大正100年祭、JR四日市駅、近鉄四日市駅でレンタサイクルサービス、WSで提案されたアイデアをもとに企業の駐車場が臨時駐車場として活用された。

## (2) 参加者アンケート調査の結果

### 1) 調査の概要

「秋のみなとフェスタ2011～四日市旧港を味わう」の一般参加者を対象にイベント当日の2011年10月23日(日)に実施した。回答者数は121人である。

### 2) アンケート結果

#### ○性別～ほぼ同数

男性54%、女性46%とほぼ同数の回答結果が得られた。

#### ○年代～高齢者がほぼ半数を占める

60歳代以上の参加者がほぼ半数を占める結果となった。しかし、80歳代・10歳代の参加者は少ないものの幅広い年齢層が参加していることがわかった。

#### ○住まい～市内からの参加者が半数以上

四日市市内からの参加者が58%と半数以上を占める結果となった。近隣の県(愛知、奈良、滋賀、和歌山、京都、岐阜)からの参加者20%、三重県内からの参加者19%、四日市港周辺からの参加者2%と地元の人々の参加者が少なく、県外からの参加者が多いことがわかった。

#### ○このイベントに何人で来られましたか～主に2人もしくは1人で参加

2人で参加した人の回答が39%と一番高い割合となり、1人で参加した人が25%と次に

高い割合となった。

#### ○このイベントにはどなたと来られましたか～家族での参加が中心

家族での参加が52%と半数以上である。次に、1人25%、友人17%と続く結果となった。

#### ○四日市旧港に対する印象について～イベント後、旧港に対する印象は良くなった

イベント前の印象について「良い」「どちらかと言えば良い」と回答した参加者は、61.7%であり、一方イベント後の印象について「良い」「どちらかと言えば良い」と回答した参加者は、73.6%である。イベント前後を比較すると印象は良くなったことがわかる(図2)。

#### ○イベントを知ったきっかけ～市広報によるPR効果

「市広報」でこのイベントを知った参加者が38%と一番のPR効果が高かった。次に「イベントチラシ」、「偶然」、「友人・知人」から知った参加者が多く、チラシ、口コミによるPR効果も大きいことがわかった。

#### ○このイベントへ参加した理由～「楽しそう」が一番の理由

イベント参加理由としては、「楽しそうだったから」が40%、「イベント内容に興味があった」が25%、「たまたま通りかかったから」が17%、「誘われたから」が12%という結果になった。

#### ○このイベントの感想～多くの人が満足

「満足した」という参加者が54%と「大いに満足した」という参加者が20%と参加した多くの人が満足しているという結果になった。

#### ○参加会場～「千歳棧橋」会場が一番人気

3つの会場の中で「千歳棧橋」会場への参加

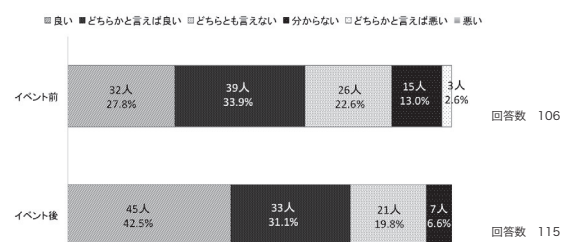


図2：イベント前後の四日市旧港の印象の変化

者が一番多かった。

### ○各イベントの参加者とその評価～全体として参加者は満足

全体的に各イベントの評価としては、「大いに満足した」、「満足した」の回答が多いことがわかった。その中でも、港巡りウォークラリー・体験クルーズ・港で働く船の見学会の参加者は多かった。

### ○四日市旧港周辺の地域資源の認知度とイベント時に実際に訪れた地域資源～認知度の高い地域資源には、イベント時にも訪れる傾向

四日市旧港周辺の地域資源の認知度として、「潮吹防波堤」48.2%、「本町通り商店街」「稲葉翁銅像」37.6%、「相生橋」34.1%、「稲葉翁記念公園」「なやプラザ」32.9%と続く。一方、イベント時に訪れた地域資源として、「潮吹防波堤」55.4%、「稲葉翁記念公園」52.3%、「相生橋」46.2%、「稲葉翁銅像」40.0%と続く。認知度の高い地域資源にはイベント時にも訪れてる傾向があることがわかった。

### ○散策マップの評価～高い満足度

散策マップについての評価としては、昨年度に引き続き、マップの大きさ・文字の大きさ・色使い・参照のしやすさの項目に関して、80%以上の参加者が「ちょうど良い」と回答している。

### ○マップ看板の評価～高い満足度

マップ看板についての評価としても、昨年度

に引き続き、看板の大きさ・文字の大きさ・設置場所の項目に関して、80%以上の参加者が「ちょうど良い」と回答している。しかし、依然として、一部の参加者は、看板・文字が小さすぎる、設置場所が不適切と回答していることがわかる。

### ○まちを散策して問題だと感じた点～散策するための環境整備

四日市旧港を散策して問題だと感じた点として、「休憩する場所が少ない」35.5%、「公共トイレが少ない」29.0%、「駐車場が少ない」25.8%と続く。去年から引き続き上位3つは変わらず、依然としてイベント参加者は、散策するための環境整備を問題点として挙げていることがわかる。

### ○これから四日市旧港の魅力を高めていくために必要と思われる施策～海や船を活用したイベント・来訪しやすい環境整備

四日市旧港の魅力を高めていく施策としては、「海や船を活用したイベントの実施」42.3%、「知ってもらおう広報の取り組み」36.6%、「来訪しやすい道路や案内看板の整備」29.6%、「カフェや市場などの開催」29.6%と続き、昨年度同様、一番必要とされている施策として「海や船を活用したイベントの実施」が挙げている。

また、イベントだけでなく、来訪しやすい環境を整えていく施策が必要と思われる点も

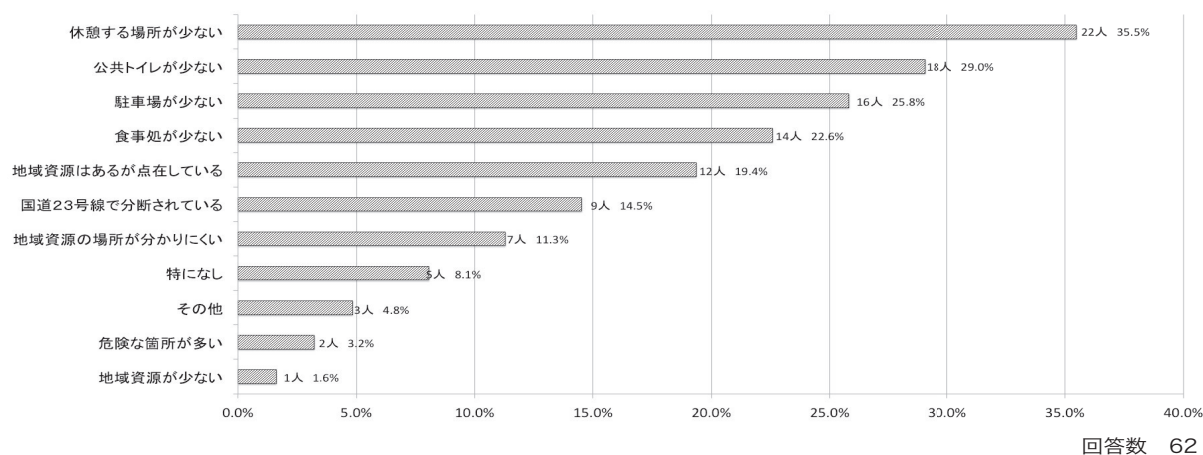


図3：まちを散策して問題だと感じた点

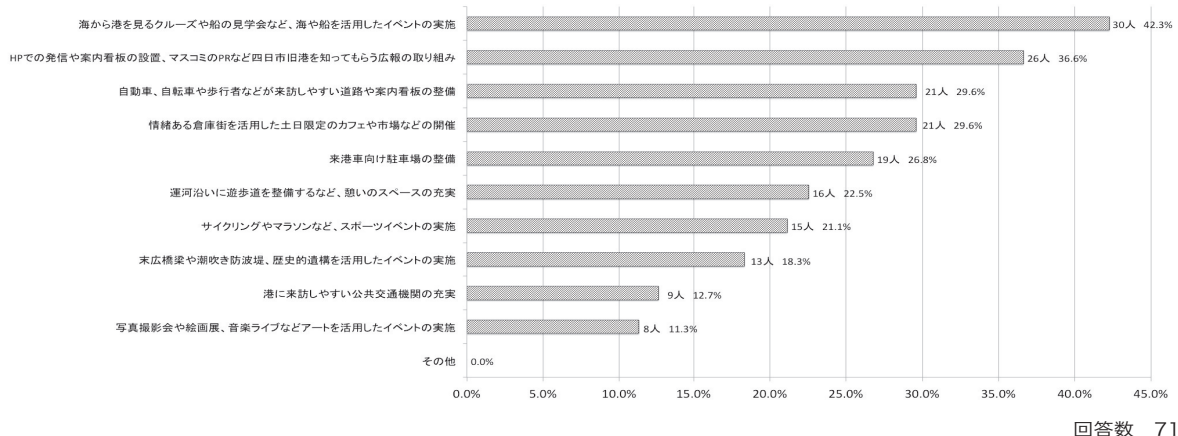


図4：これから四日市旧港の魅力を高めていくために必要と思われる施策

昨年度と同様の傾向である。

○メイン会場が「なやプラザ」から「稲葉翁記念公園」に変わったことについて～全体として「わからない」が多い結果

メイン会場変更について、「良い」「どちらかと言えば良い」と回答した参加者が35.4%だった。全体として「わからない」36.7%と一番多い結果となった。

○イベント内容が増えたことに対する考え～半数以上が「良い」と回答

イベント内容が増えたことに対して、「良い」39.5%、「どちらかと言えば良い」30.3%と半数以上の参加者が「良い」と感じていることがわかった。

○昨年度の「みなとフェスタ2010」への参加～昨年度から継続しての参加も見られた

今年度のイベントの参加者の内、昨年度の「みなとフェスタ2010」への参加者は18.9%だった。初めての参加者が多い一方で、昨年度からの参加者も数名はいることがわかった。

○昨年度と比較して今年度の「みなとフェスタ2011」での良かった点・悪かった点～今年度の取り組みを評価

昨年度と比較して今年度の「みなとフェスタ2011」での良かった点として、「メイン会場の変更」46.2%、「イベント内容が増えた」「写真コンテスト」「近鉄ハイキングと同時開催」30.8%と続き、悪かった点として「特になし」

40.0%、「フードコートの集約」「講演会が無くなった」30.0%と続いている。今年度の取り組みであるメイン会場変更・イベントの増強・他イベント（近鉄ハイキング）との同時開催が評価されていることがわかった。しかし、フードコートの集約・講演会が無くなったことが悪かった点としてあがっている結果となっている。

(3) 秋のみなとフェスタ2011～四日市旧港を味わう～の検証

秋のみなとフェスタでは、「親しまれる四日市港づくりのための100のアイデア」をもとに、3回の検討部会を経て新しく考案されたアイデアを実施した。アイデアの内容は、<知ってもらおう><来てもらおう><楽しんでもらおう>の3つに大別されている。そこで3分類それぞれの【効果と課題】について検証する。

1) 知ってもらう

来場者アンケートの結果から、今回のみなとフェスタを知ったきっかけで一番多かったのが市広報であった。今年度は昨年度の反省を生かし、事前PRや広報に力を注いだので、その努力が結果に結びついたことが伺える。その他にも、作成した散策マップには、近鉄四日市駅から旧港地区までの散策コースを掲載されていることから、この散策マップは四日市の中心市街地全体の総合的なPRとなりうる。イベントでは、地元のボランティアと歩くガイドツアーや

ウォークラリーを開催することで、散策マップと合わせて、四日市港を知ってもらうことについて、大きな効果があると思われる。一方、来場者アンケートで「これから四日市港に魅力を高めていくために必要なもの」を調べた結果、「HPでの発信や案内看板の設置、マスコミのPRなど四日市旧港を知ってもらう広報の取り組み」が第2位に挙げられていることから、今後四日市旧港を知ってもらう広報の取り組みは必要不可欠になってくると思われる。

## 2) 来てもらう

広報の強化・イベント内容の充実・近鉄ハイキングの同時開催によって、昨年度より来場者数は倍増した。しかし旧港周辺へのアクセスについては、午前・午後数本ずつ路線バスがあるのみであることから、まだまだ改善の余地はあるように思われる。実質的に公共交通機関での来場は難しい状態であり、自家用車での来場が現実的ではあるが、見所周辺には平常時の来街者用駐車場がほとんどない。イベント時には企業の協力を得て臨時駐車場を用意したが、日常時には、自家用車の来場者の受入が困難である。その他にも、アンケート調査の中で「まちを散策して問題だと思う点」の回答で「休憩する場所が少ない」・「公共トイレが少ない」・「駐車場が少ない」が上位を占めていることから、これらについての対策を講じる必要があるだろう。

## 3) 楽しんでもらう

「港で働く船の見学会」や「巡視船かもめ体験クルーズ」は、昨年度も開催していて満足度の高かったイベントであり、今年も四日市港を感じる海のイベントとして満足度が高かった。近鉄の「近鉄ハイキング」との合同開催により、ハイキングの寄り道でみなとフェスタに訪れた人が多く見られたことから合同開催の効果があつたと考えられる。昨年度からイベント内容が大幅に増加したことについてアンケートで尋ねたところ、イベントが増えてよかったと感じる人は70%にも及ぶことから、イベント内容が増えたことによる来場者満足度は高いと言え

る。昨年度と比較して悪かった点は「特になし」が多かったことから、来年度もイベント数は今年度程度必要であると思われる。ただし、稲葉翁記念公園にフードコートがあつたにも関わらず「食事処が少ない」という声が多かったことから、フードコートについては来年度に向けて、①出店数を増やす、②屋台の営業時間をイベントに合わせる、といった改善をすべきである。

## 4) 総括

秋のみなとフェスタ全体については、昨年度に比べて来場者数は倍増し、来場者の73%が満足というアンケート結果だったことから、イベントは成功だったと言える。

しかし、日常的に四日市旧港を訪れてもらうためにはまだまだ改善の余地があるように思われる。まずはアクセスの問題が挙げられる。現時点で、四日市旧港に行くにはJR四日市駅もしくは近鉄四日市駅から徒歩か自転車で来てもらうしかない。自動車を利用する場合でも、来港者向けの駐車場が少ないのが現状である。本イベントの際には企業等から駐車場を臨時に借りて対応したが、定常的に四日市港を訪れる人々のための専用駐車場の整備が長期的には求められる。また点在する地域資源を繋ぐためには散策路の整備が必要だが、稲葉翁記念公園から続くプロムナードや壁画のあるボードウォークなど部分的な整備に留まっている。千歳運河沿いにはトイレや休憩場所休憩が少なく、千歳運河沿いを散策しようとしても手すりがなく、舗装や街灯も整備されていない箇所が多いため、千歳運河沿いの散策路整備が求められるだろう。

今後も多くの主体の連携によるイベントを継続的に行うことによって、より多くの人々に四日市港に愛着を感じてもらえることを期待したい。

## 参考文献

1) 三重大学都市計画研究室・四日市港まち歩き実行委員会：「秋のみなとフェスタ 2011 企画検討部会の運営 報告書」(2012.3)